

森林管理署長等が語る

令和8年7月

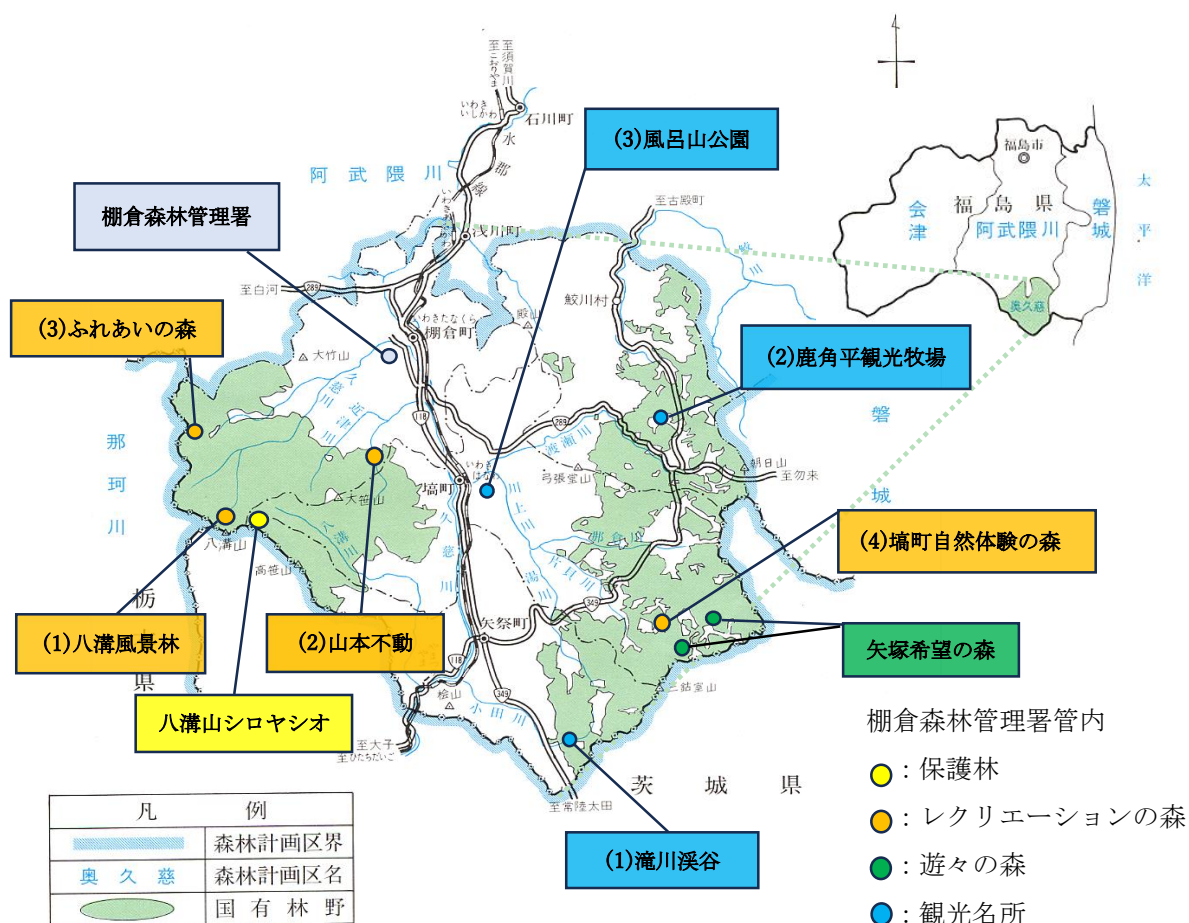
棚倉森林管理署長 佐藤健司

はじめに

「森林管理署長等が語る（棚倉森林管理署）」では、平成29年3月号、令和4年3月号、令和6年11月号で各取組について歴代署長が（なぜか何人か抜けていました）詳しく紹介しておりますので、今回は簡単な管内概要と当署管内であり知られていない「保護林」、「レクリエーションの森」、「国民参加の森林づくり」などを中心に紹介させていただきます。

1 管内概要（各位置図含む）について

棚倉森林管理署（明治23年創設）は、福島県南部に位置し、東白川郡一円（棚倉町、塙町、矢祭町、鮫川村）の国有林、約2万1千haを管理しています。管理経営に当たっては、森林の公益的機能を将来にわたって発揮していくことを目的に、地球温暖化の防止や生物多様性の保全をはじめとする国民のニーズに応えた多様で活力ある森林の整備や木材の安定供給等に取り組んでいます。主な業務は、植樹や下刈、間伐等の森林整備、国有林材の安定供給、国土保全のための治山事業、国有林野の管理・活用及び森林ふれあい事業などです。管理する国有林はスギ・ヒノキ等の人工林が67%と非常に高いのが特徴です。古くから林業活動が盛んな地域で、この地域から生産される材は、「奥久慈材」として地域銘柄化が定着しており、木材市場や大型の製材工場等もあり木材の流通拠点となっています。



2 八溝山シロヤシオ希少個体群保護林について（矢祭町）60 と林小班 43.59ha

保護林は、原生的な天然林などを保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資することを目的とし、保護を図っている国有林野のことです。当署にある八溝山シロヤシオ希少個体群保護林は、希少なシロヤシオの群落を保護・管理することを目的として設定され、八溝山の東斜面の尾根筋に生育し、南東北及び関東地方において他には類を見ないものとなっています。また、毎年5月には地元の方々による八溝山天然林保存会総会が山中で開かれており、併せて同日に八溝山天然林探勝も行われております。



咲誇るシロヤシオの花



八溝山天然林探勝の様子



総会の様子

3 レクリエーションの森について

関東森林管理局では、国有林野の豊かな自然を森林レクリエーションの場として国民の皆様にご利用いただくため、山岳、溪谷、湖沼など一体となった美しい森林や野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」に選定しています。なお、この「レクリエーションの森」は、それぞれの森林の特徴や利用の目的に応じて、次の6種類（自然休養林、自然観察教育林、森林スポーツ林、野外スポーツ地域、風景林、風致探勝林）に区分され、自然環境を良好に保ち、地域振興等に心を配りながら、それぞれの状況に応じた森林や施設の整備が計画的に行われています。ここでは、当署管内にあるレクリエーションの森について紹介させていただきます。

（1）八溝風景林（棚倉町・矢祭町・塙町）25 に林小班外 138.72ha

風景林とは、名所、旧跡等と一体となって景勝地を形作ったり、展望台等から眺望される美しい森林です。八溝風景林は、峰越林道真名畑・八溝線が通る八溝山山頂周辺にあり、ブナやミズナラの広葉樹林が広がり通行者に近景林として景観を提供しているほか、山頂にある八溝嶺神社に訪れる参拝者や観光客に四季折々の眺望を提供しています。



山頂の展望台



八溝山山頂の看板



風景林

(2) 山本不動森林スポーツ林（棚倉町）36 ち林小班外 64.35ha

森林スポーツ林とは、森林とふれあいながらスポーツを楽しめる森林です。山本不動森林スポーツ林では、キャンプ、フィールドアスレチック、サイクリングなど、アウトドアライフを楽しむことができます。久慈川支流の宮川の清流と急峻な岩肌に自生するマツと広葉樹の景観が優れており、自然探勝、キャンプ等に利用されています。また、県内有数のパワースポットとしても知られ参拝客で賑わいます。



遊歩道



シャワー室とトイレほか



バンガロー

(3) ふれあいの森林園地施設敷（棚倉町）10 ち林小班外 3.57ha

6種のレクリエーションの森に含まれず、単独でレクリエーション施設の用に供される地域にある、単独レクリエーション施設となります。棚倉町と川越市が共同で使用している施設で、一般開放はされておりません。



休憩所とトイレ



東屋



緑地敷

(4) 埜町自然体験の森施設敷（埜町）86 ち 3 林小班 0.33ha

(3) と同じく単独レクリエーション施設で、以前は小野田自然塾の施設敷として使用していた施設になります。コロナ禍以降目立った活動はしておらず、維持管理等が中心になっておりますが、昔のような体験学習など、活動が再開する日を楽しみにしています。



研修棟



雨天活動場



野営場

4 国民参加の森林づくり、矢塚希望の森について（埴町）88 口、94 口林小班 2.36ha

国有林野については、その多様で豊かな自然環境、森林・林業に関する知識と経験を備えた人材等を活用し、森林環境教育の推進、森林とのふれあいや国民参加の森林づくり等、昨今の国民の要請に応えるため、フィールドの提供や必要な技術指導を行うなど国民による国有林野の積極的な利用を推進するための制度があります。種類は、「ふれあいの森」、「社会貢献の森」、「木の文化を支える森」、「遊々の森」、「多様な活動の森」、「モデルプロジェクトの森」等あります。当署にある矢塚希望の森は、「遊々の森」で埴町と平成 21 年 10 月 16 日に協定を締結し、以来森林計画の樹立に併せて更新しております。「遊々の森」とは、森林環境教育の推進を目的とした森林教室、自然観察、体験林業等の体験活動を目的として設置されているもので、この矢塚希望の森も学校及び地域の子供たちを対象に、森林における様々な体験活動や森林環境教育を行うフィールドとして使用されています。



机、ベンチ



植樹記念柱



東屋

5 観光名所について

折角の機会ですので、当署管内にある観光名所についても幾つか紹介させていただきます。

（1）滝川溪谷（矢祭町）65 口 1 林小班ほか

東北最南端の秘境「滝川溪谷」は、全長 3km、高低差約 300m の散策路内に見事な四十八滝が連続する県内でも珍しい秘境の地で、「福島の遊歩道 50 選」にも選ばれております。溪谷には、美しい滝、巨大な奇岩や天然の老木が茂り、春のカタクリ、夏の深緑、赤や黄色に彩る秋など訪れる人を魅了します。この箇所は、特にレク森等には指定されてはおりませんが、国有林内にあり、矢祭町に遊歩道等を貸付しております。素晴らしい景色となっており、これからの暑い季節には涼しい風が吹いて気持ちいいので、是非とも遊びに来てください。



遊歩道を繋ぐ木橋



美しい溪谷



銚子の口滝

(2) 鹿角平^{かのつのだいら}観光牧場（鮫川村）

国有林に囲まれた区域で、大草原が広がる鹿角平観光牧場内には、バーベキューハウスやバンガロー、天文台などが整備され、青空のもと思いっきり遊ぶことができ、「ふくしま緑の百景」にも選定されています。国有林は関与しておりませんが、現場に行く時に通るとその壮大な景色に感動します。機会があれば是非ともお立ち寄りください。



牧場内に通る道路



天文台と東屋



食堂もあります。

(3) 風呂山公園（埴町）

日露戦争終戦後、当時の青年会の有志により町の希望の木として山つつじが植樹され、以来 120 年にわたり町民によって育てられてきました。4 月下旬から 5 月上旬にかけて見頃を迎え、約 4000 株の山つつじが咲き誇ります。昭和 63 年には「福島緑の百景」に選ばれ、平成 19 年には「福島遺産百選」にも登録されました。「道の駅はなわ」からも近く、遊歩道も整備されておりますので、軽い運動も兼ねて遊びに来てください。



遠方からの景色



東屋と標識柱



公園からの風景

6 各事業の取組について

当署で近年取組んでいるもの、あまり知られていない事業等について紹介させていただきます。

(1) ナラ枯れ対策について（矢祭町）65 リ林小班ほか

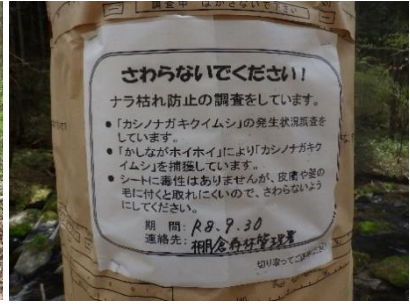
近年ナラ枯れが管内でも目立ってきております。地域的にも被害が拡大傾向にあり、今後本格的な対策を検討していく必要があるかもしれません。今年度当署では、4 月に観光地で遊歩道近くの被害木 6 本にカシナガホイホイを設置し、被害の拡大防止に取組みました。9 月末にはカシナガホイホイを取り外し、捕獲状況を確認することにしております。



作業中



作業完了



注意書き

(2) 松くい虫防除について（棚倉町、埴町）36 ち林小班ほか

当署では、40 年以上に亘、毎年約 40ha ほどヘリによる薬剤の空中散布を実施しています。これにより、全ての松くい虫を防ぐことは出来ませんが、山本不動森林スポーツ林等の高度公益機能森林区域内の赤松の保護を目指しています。今年度は、5 月 26 日に実施しました。



薬剤注入中のヘリ



飛行中のヘリ



薬剤散布の様子

(3) 高齢級人工林（ヒノキ 121 年生）の有利販売について（棚倉町）13 ろ 6 林小班

今年度、第 7 次奥久慈森林計画が始まり、その計画を編成する際に今までヒノキ展示林だった箇所をヒノキ長伐期林に変更したことから、伐採可能となりました。よって、今年度伐採搬出し、少しでも有利販売するために検討しております。販売方法等については、確定した段階で木材新聞等でお知らせすることにしております。



林内の様子



平均樹高 25m 平均直径 44cm



役物かもしれないヒノキ

7 管内トピックス

協和木材株式会社（埴町）の事務所が木造により新築され、令和7年6月に運用を開始しました。一級建築士を持つ佐川専務取締役が企画したもので、木材がふんだんに使用されています。日頃から林野庁含め多くの業界関係者が工場見学に伺っておりますが、その際には是非、事務所も見せて貰うといいと思います。



事務所の外観向かって右側



事務所の外観向かって左側



木の机とガラス張りの事務所

正面玄関にある色々な樹種の階段

ガラス張りの社長室

おわりに

当署は、林業が盛んな地域に有り、素材生産・造林事業が主なことと、管内も小さいことから「保護林」、「レクリエーションの森」、「国民参加の森林づくり」等は他署と比べて規模的に小さく、あまり知られておりませんが、それでも見どころはそれなりにあると思っております。宿泊施設（温泉付）も各町村にありますので有効活用して頂き、是非とも東白川郡に遊びに来てください。